

【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 歯列不整患者に対するインプラント治療

演者名 川口 孝

日 付 2011年08月23日

keywords

1. 歯列不整
2. インプラントポジション
3. 治療咬合
4. 矯正治療

抄 録

歯列不整患者に対してインプラント治療を計画する場合、術前に、矯正治療希望の有無を慎重に問診した上で、埋入計画を立てる必要がある。

なぜならば、当初矯正治療を希望しなかった患者がインプラント埋入の後、デンタルIQが高まり、歯列矯正を希望することになった場合、はじめに埋入したインプラントは矯正治療により動かさないばかりか、歯牙移動の妨げにもなりかねず、対応に苦慮する可能性があるからである。

今回発表の2名の40代女性の歯列不整患者に対し、どちらも矯正のアンカーとして、欠損部位にインプラントを使用した。インプラントの埋入位置を考慮することと、矯正用のアンカーとして使用するため免荷期間を可能な限り短くすることに配慮した術式を採用した。

症例①は現在進行形で矯正治療中の患者であり、症例②は最終補綴を完了し、現在メンテナンス中である。

諸先生方のご意見ご指導等いただければ幸いです。